



グループ通信

発行／ふれディアグループ本部 編集部

〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4

朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎0120-116-017

こんにちは、【ふれディア通信編集部】です。 どんよりした天気が続くとちょっと気が重くなりますよね…。でも、雨続きの日の晴れ間に目にする雨粒の輝きは心を癒やしてくれるはず。さて、今月の誕生石は真珠ですが、そんな雨粒の美しさは真珠に例えられることもあります。さらに“6月の花嫁は幸せになれる”というジュンブライドの花嫁衣装につきものなのも、真珠ですね。今回は、何かと6月に縁のある、真珠のお話をしたいと思います。真珠はかなり昔から知られていた宝石でした。今までに発見された最古のものは、紀元前4500年頃のバビロンの遺跡で発掘されたものだそうです。日本に目を向けると、縄文時代の遺跡から淡水真珠が出土していますし、邪馬台国の女王・卑弥呼も魏から贈られた真珠を持っていたといわれています。天然の真珠は大変貴重なもので、世界3大宗教の聖典にも貴重な宝物として登場しているほどです。また、その希少さからか、宝飾品としてだけでなくかつては薬としても利用されていたようです。世界三大美女の一人であるクレオパトラが、美容のために真珠を溶かした酢（ワインという説も）を飲んでいたという話は有名で、日本でも解熱剤や風邪薬として使用されていた例があるとか。「月のしずく」「人魚の涙」など、その美しさを称える異名もなんと趣がありますよね！中国では11世紀頃から淡水パールの養殖がはじまりました。その頃の技術で作られたものは、貝殻の内側に真珠層を作らせたため、貝殻がそのままついていたそうです。今のような真円に作られた真珠は、日本の技術者が開発しました。日本の真珠養殖が本格的に始まったのは20世紀に入ってからで、こちらは海の貝であるアコヤガイを使ったものです。この技術は画期的で、一時期日本産の養殖真珠は、世界の真珠のシェアの9割を占めていたこともあるほどです。今は、軽くて丈夫なプラスチックなどでできたイミテーションパールもかわいらしいものが出回っています。ハンドメイドの材料としても人気ですから、お家で過ごす時間に手作りアクセサリーに挑戦するのも面白そうですね。ちなみに真珠の言葉は、健康・長寿。真珠のパワーにあやかって、今月も元気に過ごしましょう。

【ふれディア通信編集部】



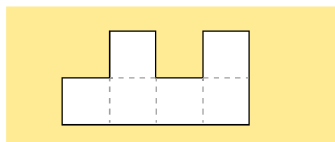
線を加えて、見本と同じ図を作ってみましょう。

見本と同じ図になるように、解答欄の図に線を加えてください。

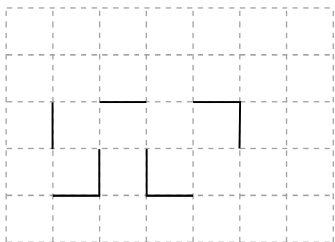
なお、解答欄の図は見本と向きが異なる場合もあります。

問題1

見本▶

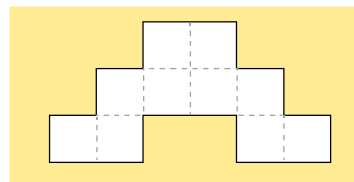


解答欄▶

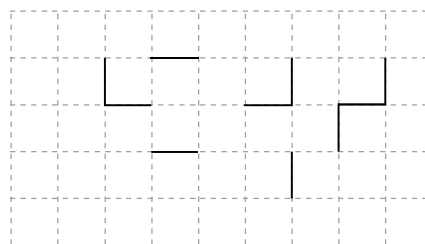


問題2

見本▶



解答欄▶



“解答”は他のページに載っています。

答えがわかるまでじっくり考えることが脳の活性化につながります！